

印刷文化賞

日印産連表彰受賞者のご紹介

日印産連表彰は、長年にわたり印刷産業の発展に貢献された個人・団体に対して顕彰する制度で、「9月印刷の月」記念式典において表彰が行われる。

本年度は、4年に一度の文化典のため、印刷文化賞5名、印刷功労賞14名、印刷振興賞22名・特別賞1名2団体が表彰を受けた。

日印産連表彰者受賞者の紹介

日印産連表彰規程（抜粋）

◆印刷文化賞は次の各項のいずれかに該当する者に授与する。

- ①印刷産業界にあって、印刷産業の発展に貢献し、併せて、印刷文化の昂揚に寄与した者
- ②印刷関連業界にあって、印刷文化の昂揚に寄与したと認められる者
- ③学識経験者で、印刷文化の発展向上に寄与したと認められる者
- ④その他、前各項に準ずる場合

◆印刷功労賞は次の各項のいずれかに該当する者に授与する。

- ①印刷産業界にあって団体運営を通じて印刷産業の発展向上に寄与した者
- ②その他、前項に準ずる者

◆印刷振興賞は次の各項のいずれかに該当する者に授与する。

- ①業務の進歩改善に著しく貢献した者、若しくは特に技術優秀な者又は優れた発明考案をした者
- ②多年に亘り後進の指導並びに業界指導に貢献した者
- ③その他、前項に準ずる者

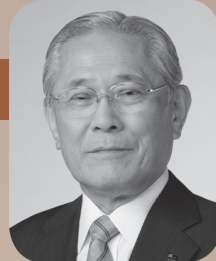
◆特別賞は次の各項のいずれかに該当する者(団体を含む)に授与する。

- ①地域社会の諸活動を通じて地域の振興に貢献し、以って印刷産業界の地位向上に寄与した者
- ②福祉活動を通じて社会に貢献し、以って印刷産業界の地位向上に寄与した者
- ③その他、前項に準ずる者

足立 直樹

凸版印刷株式会社
代表取締役会長

(一社)日本印刷産業連合会顧問
印刷図書館評議員



略 歴

昭和 37 年 4 月 凸版印刷株式会社 入社
平成 5 年 6 月 同 取締役
平成 7 年 6 月 同 常務取締役
平成 9 年 6 月 同 専務取締役
平成 10 年 6 月 同 代表取締役副社長
平成 12 年 6 月 同 代表取締役社長
平成 22 年 6 月 同 代表取締役会長（現任）

団体歴

平成 19 年 5 月 印刷工業会常任理事
平成 19 年 6 月 (一社)日本印刷産業連合会常任理事
平成 20 年 5 月 日本経済団体連合会常任幹事（現任）
平成 21 年 2 月 文化庁文化審議会委員
平成 24 年 5 月 印刷工業会会長
平成 24 年 6 月 (一社)日本印刷産業連合会 会長
平成 25 年 5 月 日本プリンティングアカデミー理事（現任）
平成 26 年 2 月 (一社)日本印刷学会評議員（現任）

推薦理由

印刷業界のリーダー企業として先進的な経営を実践するとともに、業界が抱える諸課題に対して積極的な対応を行った。印刷工業会では、他に類を見ない「業界団体としての女性活躍推進」の基盤づくりを行うとともに、部会活動の活性化を推進し、会員各社への情報提供や業界慣習の改善を図った。日本印刷産業連合会の会長としても業界基盤の強化に向け、諸施策を実行した。特に緊急課題であった大阪府内の印刷事業場の「胆管がん発症」を受け、「労働安全衛生協議会」を立ち上げ、迅速に印刷産業の労働衛生環境改善に指導力を発揮した。

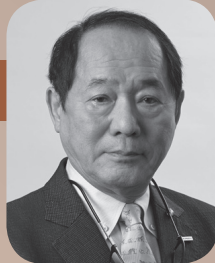
また、電子出版において新たに発生した著作権の課題に対し、日本印刷産業連合会・会長及び、日本経済団体連合会・知的財産委員会共同委員長として尽力し、平成 26 年度通常国会において、業界にとって適正な「著作権法の改正」が行われた。さらに、官公庁・団体の理事・委員会活動を通じて業界の発展に貢献した。

印刷文化賞

石田 明

(株) SCREEN ホールディングス
代表取締役 取締役会長

(一社) 日本印刷産業機械工業会
顧問



略 歴

昭和 52 年 6 月 大日本スクリーン製造(株) 取締役
昭和 53 年 6 月 同 常務取締役
昭和 57 年 6 月 同 代表取締役 専務取締役
昭和 60 年 6 月 同 代表取締役 取締役副社長
平成 1 年 6 月 同 代表取締役 取締役社長
平成 13 年 6 月 同 取締役会長兼代表取締役社長
平成 17 年 6 月 同 代表取締役 取締役会長
平成 26 年10月 (株) SCREEN ホールディングス
代表取締役 取締役会長

団体歴

平成 2 年 5 月 (社) 日本印刷産業機械工業会 副会長
平成 5 年 5 月 (社) 日本印刷産業機械工業会 会長
平成 10 年 3 月 (社) 発明協会 京都支部 会長
平成 18 年 5 月 (社) 日本印刷産業機械工業会 副会長
平成 24 年 5 月 (一社) 日本印刷産業機械工業会顧問 (現任)

表彰歴

平成 17 年 4 月 藍綬褒章 受章
平成 19 年 5 月 (社) 日本印刷産業機械工業会表彰
(経済産業大臣賞)

推薦理由

平成 2 年 5 月に (社) 日本印刷産業機械工業会副会長に就任、平成 5 年 5 月から 12 年 5 月の間においては同会長を務め、その後現在に至るまで長年にわたり同会での活動を通じて印刷産業全体の発展と振興に多大なる貢献を果たし続けている。特に同会会長在任中は、我が国がバブル崩壊後の厳しい経済情勢にある中、その卓越した指導力と将来展望により、印刷機械業界にとどまらず、印刷産業全体の将来を見据え、デジタル化の進展へと変革をもたらす新しい事業化への動きを指導し、環境変化への対応の機運を牽引、更なる業界発展の実現に果たした功績は高く評価される。また「発明協会」における活動を通じて、印刷業界にとどまらず広く産業界に対する知的財産権の普及啓蒙に努め、更に京都国際文化交流財団に協力し、寺社・仏閣に保存されている歴史的文化的財の電子保存に取り組み、最新の技術を駆使した高精細なデジタルアーカイブを実現し貴重な文化遺産の後世への伝承にも取り組むなど、広く社会貢献にも尽力し、印刷産業全体の地位向上につなげた功績は計り知れない。

古 森 重 隆

富士フイルムホールディングス(株)
代表取締役会長 CEO



略 歴

平成 7 年 1 月 富士写真フイルム株式会社 取締役
平成 8 年 6 月 Fuji Photo Film (Europe) GmbH 社長
平成 12 年 6 月 富士写真フイルム株式会社 代表取締役社長
平成 24 年 6 月 富士フイルムホールディングス株式会社
代表取締役会長 CEO (現任)

団体歴

平成 7 年 2 月 製版機材協議会 会長
平成 15 年 7 月 写真感光材料工業会 会長 (現任)
平成 15 年10月 (一社) 日本経済団体連合会
常任幹事 (現任)
平成 16 年 2 月 (社) 日本印刷学会 評議員 (現任)

表彰歴

平成 16 年 藍綬褒章
平成 18 年 ドイツ連邦共和国功労勲章大功労十字章
平成 21 年 旭日重光章
平成 22 年 オランダ王国オレンジ・ナッソー勲章・コマンダー章
平成 24 年 ベルギー王国レオポルド勲章コマンドール章
平成 27 年 日本印刷学会功労賞

推薦理由

富士フイルム(株)の印刷システム事業に永い間携わり、印刷プリプレス工程のデジタル化に代表される各種技術革新に対応し、先進的な製版機材・刷版機材を開発、製造、普及することで、印刷業界の生産性向上、品質向上に貢献をしてきた。その間、平成 7 年から平成 18 年の間にプリプレスベンダーの団体である製版機材協議会 (現プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会) 会長の要職を務め、また、日本印刷学会評議員は平成 16 年から就任し現在に至る。

富士フイルムホールディング(株)CEOに就任後は、デジタルによるフィルム喪失という危機的局面をドラステックな経営変革により乗り越えるなど、時代を代表する経営者として活躍しているが、その著書或いは各種講演会、寄稿記事などにおいて、「印刷業界は長い事携わった出身母体」であり「印刷業界での貴重な経験はかえがたいものがある」と、印刷産業をひろくアピールする事で、業界のイメージアップ・社会的地位向上に多大な貢献を果たした功績も高く評価される。

印刷文化賞

猿 渡 智

大日本印刷株式会社
元代表取締役副社長
印刷図書館 評議員



略 歴

昭和 37 年 4 月 大日本印刷株式会社 入社
平成 元 年 6 月 同 取締役
平成 8 年 6 月 同 常務取締役
平成 13 年 6 月 同 専務取締役
平成 19 年 6 月 同 代表取締役副社長（平成 24 年退任）

団体歴

平成 22 年 5 月 印刷工業会 会長
平成 22 年 6 月 （一社）日本印刷産業連合会 会長
平成 23 年 6 月 印刷図書館 理事長
平成 24 年 6 月 印刷図書館 評議員（現任）
平成 26 年 6 月 （一財）東京社会保険協会 会長（現任）
平成 26 年 6 月 （一社）全国社会保険協会連合会 会長（現任）

推薦理由

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災とそれに伴う原発事故によって、当該地の印刷各社は直接的に大きな被害を受け、また全国の多くの印刷会社も原材料不足や計画停電などにより経営に大きな影響を被った。こうした状況の中、日印産連会長としてのリーダーシップを発揮し、行政や顧客に対して積極的に印刷産業の現況を伝え、復旧・復興に向けての支援・協力を要請し、被害拡大の防止や早期立ち直りに尽力した。また、社会的責任遂行の観点から、被害地域の遺児育英資金として「もも・かき育英会」に 1000 万円の寄付をした。

一方、経営環境が激変していく中で印刷産業が現在直面する課題を整理し、これからの 10 年に印刷産業が果たしていくべき役割と進むべき方向性を明示した印刷産業将来ビジョン「SMATRIX2020」を発表。会員各企業の成長に大きく寄与する内容となった。

このほか上海で開かれた中国印刷フォーラムで、環境対応や大震災からの復興への印刷産業の取り組みなどについて講演し、日本の印刷産業の誠実な経営と力強さに対して賞賛を集めた。

森 澤 嘉 昭

株式会社モリサワ 相談役
（社）日本印刷産業機械工業会
相談役



略 歴

昭和 42 年 4 月 株式会社モリサワ 取締役
昭和 50 年 4 月 同 代表取締役社長
平成 9 年 5 月 同 代表取締役会長
平成 15 年 3 月 同 代表取締役会長 兼 社長
平成 24 年 5 月 同 相談役（現任）

団体歴

昭和 59 年 5 月 （社）日本印刷技術協会 常務理事
平成 2 年 1 月 （社）日本印刷産業機械工業会 常任理事
平成 2 年 5 月 （社）日本印刷技術協会 副会長
平成 4 年 5 月 （社）日本印刷産業機械工業会 副会長
平成 25 年 11 月 中国印刷技術協会 永久顧問（現任）

表彰歴

平成 2 年 11 月 通商産業大臣表彰（団体役員功労）
平成 3 年 4 月 藍綬褒章（産業功労）
平成 17 年 4 月 旭日小綬章

推薦理由

社業はもとより多くの印刷業界団体の要職を歴任し、印刷技術動向の分析、人材の育成、資機材の研究開発など、永年にわたり印刷産業の基盤強化に尽力した。その先見性のある積極的な活動は卓抜したアイデアともあいまって、わが国印刷産業の振興発展に多大な功績を残した。

社業においては、印刷文字と組版技術を核として、常にコンピューター時代を先取りする開発事業を推進してきた。昭和 55 年発表の「ライノトロン」第三世代 CRT 写植システムは、かつてない廉価で高性能な電算写植として高く評価され、急速に全国の中小印刷企業に導入された。さらに昭和 62 年、米国アドビシステムズ社が開発した新技術の将来性を見極め、同社と「日本語ポストスクリプトフォント」の開発契約を締結、これが現在の日本語 DTP システムの幕開けとなった。自社書体を一般社会へも開放し広げた氏の決断は「フォント開放」と呼ばれる画期的なもので、その後も印刷業界の要請に応じて開発努力を続け、今日の DTP 環境の発展に極めて大きな貢献をした。

印刷功労賞

有松 敏樹

アート印刷（株）
代表取締役社長

印刷工業会



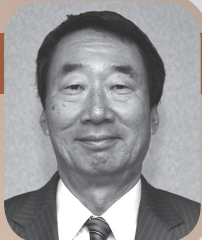
推薦理由

平成12年6月（一社）日本印刷産業連合会広報委員会の委員に就任、印刷文化典、各種コンクール展などの各事業を通じて、印刷産業の普及・啓発、地位向上と情報産業としての活動に寄与することを目的にした委員会の事業活動に委員として長年にわたり参画する。また、平成16年5月に印刷工業会の理事に就任、平成26年6月に（一社）日本印刷産業連合会の理事に就任し、団体活動を通して印刷業界の発展に尽力する。

永井 直裕

永井印刷工業（株）
代表取締役社長

印刷工業会



推薦理由

平成13年に自社社長に就任する傍ら14年には印刷工業会理事に就任、また平成25年からは日本印刷会館の代表取締役社長に就任して同会館の健全な運営に貢献している。平成26年より印刷工業会の副会長を務めている。また彩友会や印刷成田講などの親睦会等にも旧来から積極的に参画しており、印刷業界の発展に大きく寄与している。

服部 克彦

瀬味証券印刷（株）
代表取締役社長

印刷工業会



推薦理由

平成20年印刷工業会技術部会長に就任し、業界の最先端技術や環境対応・省エネなどの技術情報を広く発信し、業界の発展に大きく貢献した。平成22年印刷工業会理事に就任し、理事・技術部会長を務める。また、日本印刷産業連合会の技術委員会メンバーとしても活動し、平成26年技術委員長に就任、モノづくりにおける情報技術の共有化と有効活用、人材育成、標準化の推進等を通じて印刷業界の技術基盤の構築に尽力した。

工藤 久志

株式会社明祥
代表取締役会長

全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

平成18年から22年にかけて、全印工連常務理事、東京都工組副理事長などの要職に就く。この間、全印工連教育・労務委員会委員長として、経営者研修会や人材育成セミナーの企画・開催支援、印刷営業講座、印刷営業士認定試験などの制度教育事業の実施、オフセット印刷作業をはじめとする技能検定実施への協力、労働関係法令改正への対応など、様々な教育事業の推進に努め、現在の全印工連教育事業の礎を築いた功績は多大である。

日比野 信也

日生印刷（株）
代表取締役社長

全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

平成6年～8年にかけて全国青年印刷人協議会議長、平成20年～22年にかけて全印工連常務理事、東京地区印刷協議会会長を、日印産連においては経営労働委員会委員、下請取引適正化研究会委員などの要職を務める。またこの間、全印工連経営・マーケティング委員会委員長として、経営革新の研究、マーケティング戦略の研究、資機材問題への対応などに積極的に取り組むなど、中小印刷業界の振興発展に尽くした功績は多大である。

印刷功労賞

四橋 英児

ヨツハシ(株)
代表取締役社長

全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

平成 16 年から全印工連教育・労務委員会副委員長、平成 20 年から全印工連常務理事、中部地区印刷協議会会長、組織財政改革特別委員会委員などの要職を務める。この間、教育事業の推進、全印工連の組織財政基盤強化策の構築、さらには、「全印工連 2010 計画－業態変革実践プラン」、「産業成長戦略提言－ソリューション・プロバイダーへの進化」の積極的な推進など、中小印刷業界の振興発展に尽くした功績は多大である。

小谷 達雄

(株)イセトー
代表取締役会長

日本フォーム印刷工業連合会



推薦理由

平成 8 年にフォーム工連理事に就任し、常任理事及び副会長を経て、平成 22 年には会長として就任。常に先頭に立って業界の振興発展に大きな役割を果たした。企業に於いては、平成 9 年に代表取締役社長に就任、現在は代表取締役会長の要職にある。また同社は欧州の主要ビジネスフォーム企業が設立された eFORMA に加盟し、欧州企業との関係も深く、欧州の印刷事情についての情報提供を通して団体の活動に活かされている。

安武 史朗

(株)アクセス
相談役

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会



推薦理由

熊本県支部長、九州地方協議会会長、本部理事を兼任しながら業界の振興に活躍した。特に副会長・経営委員長に就任して実施した年賀状デザインコンテストは、マーケットとしては過去のものとして認識されていた年賀状市場を再認識させる功績があったほか、入賞した年賀状デザインは会員企業が無料で利用できるコンテンツであるため、ジャグラの人気事業として成長し定着している。

大熊 茂樹

(株)大熊製本
代表取締役

全日本製本工業組合連合会



推薦理由

現在、東京工組副理事長、全製工連専務理事の要職を務める。この間、東京工組の広報委員長、広報担当副理事長として機関誌やホームページの内容の充実化を図ったほか、商業印刷製本部会長として部会運営の活性化に貢献した。全製工連では、製本業中期振興ビジョンの策定並びに普及推進に大きく寄与した。また下請法関係に詳しく、研修会を通じて下請法の周知を図るなど、組合員の取引慣行の改善に大きく貢献した。

小林 博美

(株)二葉写真製版
会長

日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会



推薦理由

経営環境の変化が激化するなか、自社で培ったスキルを活かしたビジネス展開を構築、業界の先導的な企業経営に努める傍ら、多年に亘り業界団体の G C J 会長、G C 東京理事長等の要職を歴任。業界の新たな方向性を示す施策「【デジタル・コンテンツ制作集団】めざす」を提唱、積極的に各種事業活動を展開推進した。また円滑な組織運営と人材育成の任にあたり、業界組織の活性化、組織基盤強化に尽力、大きく寄与した功績は顕著である。

三浦 順治

(有)三浦マーク
代表取締役

全日本シール印刷協同組合連合会



推薦理由

神奈川県シール印刷協同組合理事長を 2 期 4 年（全日本シール副会長重任）をはじめ役員を 25 年強務められ、産学連携による「チカン撃退シール」では企画・製作に携わり、現「チカン抑止シール」のベースとなる諸活動に尽力した。連合会副会長就任中は、卓越した見識と神奈川協組での役員経験を発揮して、改革を成し遂げ組織強化にも尽力した。特に連合会第 52 回年次大会・横浜大会では大会の運営責任者として大成功を収めた。

印刷功労賞

金谷 益孝

彫刻グラフィカ札幌㈱
代表取締役社長

全国グラフィア協同組合連合会



推薦理由

平成 22 年に北海道グラフィア印刷協同組合の理事長に就任。長年に亘り組織強化、業界の振興発展に貢献している。また、全国グラフィア協同組合連合会の副会長を務め、業界の環境問題への対応、社会的責任への取り組みなどの各種事業を推進している。さらに北海道という寒冷地に関わらず、第 12 回印刷産業環境優良工場表彰・グリーンプリンティング認定工場（F-H30036）を取得するなど、功績は大である。

河合 正

大和グランド㈱
取締役会長

全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会



推薦理由

愛知県スクリーン・デジタル印刷協同組合の設立当初からのメンバーで副理事長として 4 人の理事長を支え、他社に先駆けた先端技術、蓄光印刷や香料印刷などのスクリーン印刷や、テクスチャー印刷などの機能性印刷を組合員に紹介し、業界の技術発展向上に寄与した。又、最高齢の連合会理事として、その豊富な経験と知識を活かし連合会の発展に多大な貢献を果たした。

大島 一夫

太陽樹脂工業㈱
代表取締役

全日本光沢化工紙協同組合連合会



推薦理由

全日本光沢専務理事、東京組合常務理事・専務理事の要職を歴任、役員就任当初より組合広報を担当、会員間の情報の共有化を図り、教育事業・中小企業事業基盤強化対策等の組合事業推進に尽力している。特に若手事業者の指導力には定評があり、業界の後進育成や組織強化に努める一方、組合員若手後継者や異業種との交流を通し業界の振興発展に寄与している功績は大である。

印刷振興賞

小 貫 敬 一

ビーエフ&パッケージ(株)
常務取締役
印刷工業会



推薦理由

長年に亘り、紙加工の営業に携わり、市場ニーズに対応した機能性食品容器や美粧性パッケージの開発に尽力した。更に、印刷工業会 紙器印刷部会副幹事を長年勤める等、業界の発展に貢献した。

小 野 忠 朝

宝印刷(株)
執行役員
印刷工業会



推薦理由

入社以来印刷諸工程に従事。管理職を歴任し社員の技術向上を図る。執行役員として印刷部門を統括。品質面のみならず業務特殊性に基づく情報管理等様々な観点から高水準な指導体制並びに生産体制を構築・維持している。

永 井 一 民

大日本印刷(株)
研修部印刷研修センター長
印刷工業会



推薦理由

様々な事業分野で工場長、製造本部長を歴任、後身の育成にも積極的に取り組む。さらに、これまでの経験知識を生かし、日印産連「印刷技術標準化WG」「印刷用語刊行委員会」委員を務めるなど、印刷業界への貢献大である。

久 野 政 道

共同印刷(株)
資材部部长
印刷工業会



推薦理由

平成21年度より印刷工業会資材部会の委員を務め、平成24年度からは部会長として活躍。工業会の活動推進に寄与した。また製紙会社からの価格改定要求の対応には、中心的な役割を果たし印刷業界の発展に尽力した。

山 本 誠

草加紙バック(株)
製造部長代理
印刷工業会



推薦理由

勤続36年に亘り液体紙容器及び一般紙器の印刷を含む技術全般に携わり、操業の改善及び技術の向上に尽力した。後進の育成にも卓越した技能と指導力を発揮し、会社全体の技術力アップに大きく貢献している。

渡 部 俊 行

松栄印刷(有)
代表取締役
全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

平成14年から20年まで、全印工連理事、島根県工組理事長、中国地区印刷協議会副会長の要職を務める。この間、「全印工連2008計画―業態変革推進プラン」を推進し、中国地区の中小印刷業界の発展に大きく貢献した。

緒 方 光 治

(資)緒方印刷所
代表社員
全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

平成14年から20年まで、全印工連理事、熊本県工組理事長、九州地区印刷協議会理事の要職を務める。この間、全国の地元紙に対する「新聞社の印刷物受注に対する見解」の作成に取り組むなど、各種の課題解決に大きく貢献した。

印刷振興賞

田中 國陸

大日本法令印刷㈱
代表取締役会長

全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

平成 16 年から 22 年まで、全印工連理事、長野県工組理事長、関東甲信越静地区印刷協議会監事の要職を務める。この間、中小印刷業界の地位向上、組織強化の推進に尽力するなど、業界の振興発展に果たした功績は顕著である。

片岡 孝元

㈱片岡印刷所
取締役

全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

平成 20 年から 26 年まで、全印工連理事、高知県工組理事長、四国地区印刷協議会副会長の要職を務める。この間、経営、環境、組織、教育の各種事業を積極的に推進するなど、中小印刷業界の振興発展に果たした功績は大きい。

新井 正敏

㈱アサヒコミュニケーションズ
代表取締役会長

全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

平成 20 年から現在まで、全印工連理事、埼玉県工組理事長、関東甲信越静地区印刷協議会監事の要職を務める。この間、業態変革、経営革新、官公需改善運動などに力を注ぎ、卓越した指導力を発揮し組合員を牽引した功績は多大である。

佐久間 信幸

㈱日進堂印刷所
代表取締役社長

日本フォーム印刷工業連合会



推薦理由

東北フォーム印刷工業会の理事・常任理事を 10 年務め、平成 20 年より会長に就任。設立 40 周年式典事業をはじめ、会の発展に寄与。併せてフォーム工連の常任理事も歴任。また東日本大震災の被災を受けながら被災地の支援活動に積極的に取り組み続けており、その功績は誠に顕著。

太田 真義

セイコービジネス㈱
専務取締役

日本フォーム印刷工業連合会



推薦理由

2013 年、東中国フォームと西中国フォームを統合し中国フォーム印刷工業会を発足。更に会長として、四国フォーム印刷工業会の活性化を図るために中四国フォーム印刷工業会を設立した。企業に於いては工場長として環境優良工場の受賞に貢献、第 1 回 GP 認定工場にも認定された。

鈴木 茂樹

トッパン・フォームズ㈱
総務本部 CSR 推進部 担当部長

日本フォーム印刷工業連合会



推薦理由

個人情報保護法研究会契約書雛形改訂分科会の座長として、契約書雛形改訂版(第 2 版)を策定。更に第 3 版(改訂版)とともに契約条文解説書を発行する等、DPS 業務に関する契約事項の基礎を構築した。また 13 年からは日印産連個人情報保護研究会及び同 WG 委員として活躍中。

菅野 潔

(株)興栄社
代表取締役

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会



推薦理由

平成 10 年から 4 年間はジャグラ事業の根幹を成す経営基盤確立委員として活躍した。平成 20 年からは環境のエキスパートとして、ジャグラばかりでなく、印刷業界全体においても活躍している。

大内 靖

(株)グラフィカ大内
代表取締役

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会



推薦理由

カラー対応のエキスパートとして平成 15 年 6 月カラー印刷技術委員長に就任し、カラーチャートを平成 18 年、平成 19 年、平成 23 年、平成 26 年と開発し、業界のカラー印刷対応力の向上に尽力した。

印刷振興賞

中山 正敏

共同紙工(株)
代表取締役

全日本製本工業組合連合会



推薦理由

長年に亘り、宮城工組の理事長を務める。東日本大震災に際しては、理事長として被災状況の把握や支援の前面に立ち、組合員企業の復旧・復興に尽力した功績は顕著である。

松本 峰包

松本製本(株)
代表取締役

全日本製本工業組合連合会



推薦理由

福岡工組の専務理事・理事長の要職を長年務める。この間、取引慣行に係る対外交渉の担当を務め、取引慣行の改善に尽力するなど、地域製本業の経営基盤の確立に貢献した。

杉 渕 好美

(株)プロセスレボ
代表取締役社長

日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会



推薦理由

多年に亘り企業経営に携わる傍ら、業界組織の要職を歴任、現在GCJ副会長・GC北海道理事長として活躍。業界組織の事業全般の運営、振興に先導的に努める。組合事業の推進を通じて北海道地区の組織基盤づくりに尽力した功績は多大である。

田 中 幸 晴

(株)田中美術印刷
代表取締役

全日本シール印刷協同組合連合会



推薦理由

東京都正札シール印刷協同組合では6年4ヶ月にわたり副理事長を務められ、連合会でも常務理事として現在も組織の取りまとめ・活性化に尽力されている。特に連合会主催の行事には積極的に参加されており組合員からは信望が厚いリーダーである。

弓 矢 泰

富士機械工業(株)
顧問委員

全国グラビア協同組合連合会



推薦理由

1978年フィルム用グラビア輪転印刷機の初号機FDシリーズを完成させ、その後FM、FS、FX、各機の開発も主導。2000年にはセクショナルグラビアMDシリーズを完成させた。現在は次世代の育成に携わっている。

内 藤 正 和

内藤プロセス(株)
代表取締役

全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会



推薦理由

従来からのスクリーン印刷での技法を原点にしながら高繊細なライン構成で独自の高性能印刷を確立している。団体理事として、組織の強化、財政基盤の健全化、若手理事の指導・育成に努めている。

長 谷 川 重 則

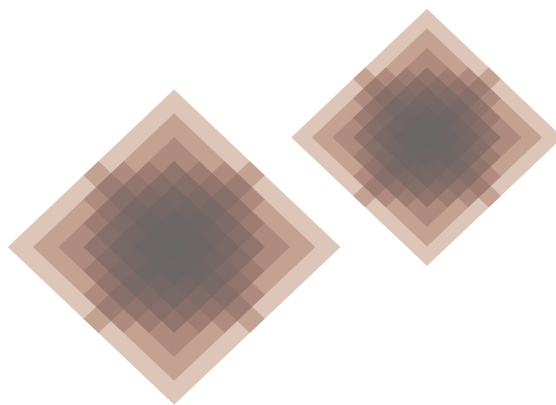
日本樹脂工業(株)
相談役

全日本光沢化工紙協同組合連合会



推薦理由

多年に亘り企業経営に携わる傍ら、独自のラミネート加工技術を研究、顧客に新技術の提案・新需要創出を図り、広く業界の振興発展に貢献。組合では東京組合監事・理事、全日本理事等を歴任、環境委員・税制対策等の事業推進に尽力した功績は顕著である。



特別賞

全日本印刷工業組合連合会

CSR推進専門
委員会委員長 池田 幸寛
全日本印刷工業組合連合会



「CSR事業への取組み」

推薦理由

全日本印刷工業組合連合会では、「環境・安全・エネルギー・福祉・ライフスタイルなど、企業を取り巻く環境が大きく変化する中、持続可能な経営をするために、社会から求められる様々な要請に応える企業の社会的責任を果たす」ことをテーマに掲げ、平成22年度よりCSRの研究に取りかかり、平成25年度に業界団体として日本初のCSR認定制度を立ち上げ運用を開始した。現在ではワンスター企業75社、ツースター企業12社の計87社が認定され、今後の普及、影響について他の業界からも大きな注目を集めている。

広島県印刷工業組合(福山支部)

福山支部長 浅田 英史
全日本印刷工業組合連合会



「東日本大震災支援事業 笑顔のうちわ・カレンダーの寄贈」

推薦理由

平成23年3月11日に起こった東日本大震災を受け、「印刷業として私達に何ができるのか?」を問い続け、その答えとして、福山市にある小学校の生徒にそれぞれの“想い”を描いてもらい、その中から選ばれた48作品から「えがお」のメッセージうちわと「笑顔のカレンダー」を作成して届けたことをきっかけに、今日まで4年間に亘り活動が続いている。この事業は朝日新聞社、中国新聞社、山陽新聞社、NHKなどの各メディアで取り上げられ、大きな反響を起こすなど、印刷業界のPRならびに地位向上に果たした功績は大きい。

山口県印刷工業組合 (青年部)

青年部会長 岡崎 吉男
全日本印刷工業組合連合会



「MUD点字カレンダーの寄贈」

推薦理由

社会貢献活動として、4年前の平成23年より県内外の印刷資材メーカー34社の協賛を得て、卓上型のMUD点字カレンダーを制作して寄贈している。カレンダーにはメディアユニバーサルデザイン(色覚障害者、色弱者にも優しいデザイン)を採用し、見やすさや、めくりやすさを実現している。また、色覚障害の人などが色を認識できる幅が広がる「ハッチング」という技術効果によって四季を感じられる工夫もなされている。この活動によって印刷業界としてのUDの普及啓発並びに対外PRに大きく貢献したことは特筆に値する。

堀 洸太

(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ
札幌工場
一般社団法人日本印刷産業連合会



第43回技能五輪国際大会 (サンパウロ大会) 印刷職種日本代表選手

推薦理由

当会主催の同代表選手選考会においては、学科試験・実技試験とも優秀な成績で日本代表選手に選考された。2015年8月開催のブラジル・サンパウロ大会では、40職種45名の日本代表選手の一員として参加。オフセット印刷の他にデジタル印刷や印刷シミュレーター(SHOTS)のデジタル系課題を競うと共に、断裁・メンテナンス作業などの幅広い審査項目で技術・技能を発揮した。